

平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 59
千葉県立 柏中央 高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

人物に優れ、本校の教育方針を理解し、本校を志望する理由が明確な、次のアからウのすべてを満たす生徒

ア 学習成績に優れ、入学後も意欲的に学習に取り組む生徒

イ 自分の将来を真剣に考え、入学後も大学進学等の進路実現に向けて努力できる生徒

ウ 部活動、生徒会活動、学級活動、学校行事等に熱心に取り組んだ経験があり、入学後も積極的に取り組む生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者5名程度・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ約15分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点（各教科100点の合計500点満点）で評価する。
個々の教科の得点	30点以下の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書

アの数値に、イ、エ及びオについて加点（上限40点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評価1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年皆勤である場合は加点する。 1年間で10日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が2つ以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	学級活動（学級委員長等）、生徒会活動（生徒会役員、委員会委員長等）、学校行事（行事実行委員長等）などの優れた記載については加点する。
オ 部活動の記録及び特記事項	部活動（県大会出場以上、部長等）及び特記事項において実用英語技能検定準2級以上・日本漢字能力検定準2級以上・実用数学技能検定準2級以上などの優れた記載については加点する。
カ 総合所見	記載内容に問題がないこと。問題がある場合は審議の対象とする。 特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接〔5点満点〕

3名の評価者ごとに、評価項目の各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価し、3名の評価者の評価の組み合わせ（aaa～ccc）をもとに得点化する。なお、原則として、評価に「c」が1つでもある場合は審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・高校生活への意欲	志望の動機が明確である。 高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
ウ 身だしなみ・態度	基本的な面接作法が身に付いている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計により順位をつけたとき、次のパーセント以内にある者は、入学許可候補者として内定する。
 (ア) 受検者数が予定人員以内のときは、受検者数の80パーセント
 (イ) 受検者数が予定人員を超えるときは、予定人員の80パーセント
 ただし、学力検査の個々の教科の得点、調査書の教科の学習の記録、出欠の記録、行動の記録、総合所見及び第2日の検査（面接）の結果等に問題となる点がないこと。
 イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計に「第2日の検査（面接）の得点」を加えた「総得点」で順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)	加点	面接	
500点	(135 + α - m) 点	40点	5点	(680 + α - m) 点

(算式1) α：県が定める評定合計の標準値95

m：当該志願者の在籍する中学校の第3学年（義務教育学校にあっては、後期課程の第3学年）の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。
 イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。

平成30年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 59
千葉県立 柏中央 高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点（各教科100点の合計500点満点）で評価する。
個々の教科の得点	30点以下の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値を評価する。 評価1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	1年間で10日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が2つ以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	記載内容に問題がないこと。問題がある場合は審議の対象とする。 特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。
イ 入学許可候補者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。